

Autumn 2023

発掘！発見！土の中にはロマンがいっぱい

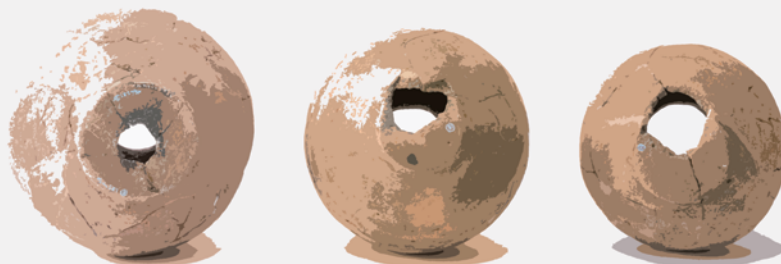
もぐら の はなし



富士宮市 埋蔵文化財センターだより

秋号

2023
Autumn





んな場所にも遺跡があった！



ふだんの生活の中では意識することのない遺跡。あまり知られていませんが、意外と身近な場所にあるんです。次号でも引き続き、遺跡範囲が重なっている学校を紹介します！

1 この学校にも！？ ～富丘小学校～

“こんなところに遺跡が!?”
学校編①



石包丁が壊れた後
ペンダントとして再利用



丸子式土器

富士宮市内で三番目に児童数の多い富丘小学校。校庭を含む学校の南側台地の先端には、弥生中期の遺跡である「渋沢遺跡」があります。遺跡からは稲穂を摘むための石包丁や横刃形石器などの弥生農耕的な石器も出土しますが、石鏃や石斧なども見られ、稲作と狩猟・採集が併存していたことがわかります。また、出土した多量の土器は、東海地方の丸子式土器を中心として、西からの文化の影響を受けていることがうかがえます。

3 古代の装身具 まがたま 勾玉づくりレビュー

小学生を対象とした夏休み講座「勾玉づくり」。2日間で、全33組の親子が参加して、作業に没頭した2時間でした。

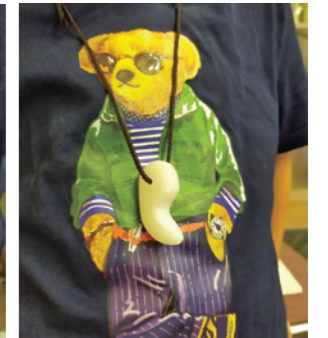


職員の説明を聞く姿は真剣そのもの。強い意気込みを感じます



母娘で参加の方の作品。娘さん作の勾玉(上)は、安定のしずく型。お母さんのデザインには、オリジナリティがあふれています

ベアルックで参加してくれたお兄ちゃんと弟。勾玉もおそろいでつけられますね



2 この学校にも！？ ～第三中学校～

“こんなところに遺跡が!?”
学校編②



顔面土偶



井戸尻式(勝坂式)土器



曾利式土器



堀之内式土器

派手&重厚で
見ごたえ抜群!

第三中学校の校庭を中心に、潤井川まで広がる大遺跡が「滝戸遺跡」。調査のたびに多くの遺物が出土する、縄文・弥生・古墳時代にまたがる複合遺跡です。これまでに7回も調査があったので、発掘風景を見かけたことがある人もいるかもしれません。

滝戸遺跡から出たいろいろな種類の土器は、埋蔵文化財センターに展示されていて実際に見ることができます。

誰かに話したくなる！

考古学トリビアの壺

須恵器はなぜ灰色？

茶色や赤茶色をしているイメージが強い土器ですが、古墳時代に使われた「須恵器」と呼ばれる土器は灰色をしています。

須恵器は窰窯という窯で焼かれ、仕上げの工程で窰を密閉します。そのため、燃える際に土器から酸素が奪われて、灰色になるのです。



須恵器の坏
(村山浅間神社遺跡)



he~ he~
Bikkuri!
Shiranakatta!!

2023 秋号のプレゼントクイズ！

何人家族？

埋蔵文化財センターの展示室にある、竪穴住居の模型。住居の中では一家が仲良く暮らしているのですが、さて彼らは何人家族でしょう？住居をのぞいて、人数を職員に教えてください。埋文グッズを差し上げます！



バックナンバーのご案内

これまでの『埋文ふじのみや』Vol.1～Vol.21は、富士宮市のホームページでご覧になれます。

合わせて、最新号も公開しています。



創刊号



Vol.2



Vol.3



Vol.4



Vol.5



Vol.6



Vol.7



Vol.8



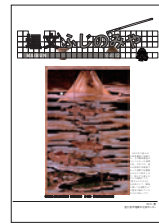
Vol.9



Vol.10



Vol.11



Vol.12



Vol.13



Vol.14



Vol.15



Vol.16



Vol.17



Vol.18



Vol.19



Vol.20



Vol.21

富士宮市埋蔵文化財センター

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室 平日

開館日 * 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

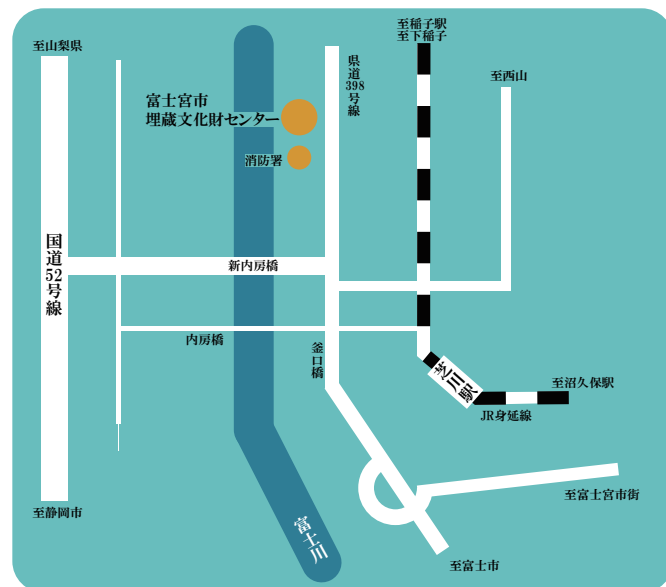
開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

* 埋蔵文化財センターの業務時間は8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）

※詳細はHPでご確認ください



富士宮市埋蔵文化財センターだより

もぐらのはなし 秋号（通算 vol.22）

令和5年10月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター